

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290900222		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	グループホームガーデンコート船橋三山 (2階)		
所在地	千葉県船橋市三山5-57-12		
自己評価作成日	令和5年2月22日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座6-13-9 GIRAC GINZA8階bizcube		
訪問調査日	令和5年3月30日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

生活の中での掃除・洗濯・調理等は職員が全てを行なうのではなく、お客様ができることは共に行なうという、当たり前のことを当たり前に行なうことが出来ております。
 日々の生活の中にADLの維持、向上できるようなことを考え、実践していく環境があります。また、本年はコロナ禍ではありませんでしたが、時間や場所を限定し出来る限りの範囲で外出(散歩など)を実施しました。
 ご家族との交流の機会も減ってしまいますことに対する施策として、ズーム面会やラインを利用したテレビ電話などを駆使し一定の交流を保てるようにしました。
 お客様個々を把握し、介護度が高くなったとしても自施設にて変わらずにお過ごしになることが出来ています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

コロナ禍で全体での外出行事や地域行事への参加などは難しい一年となりましたが、ホーム内では季節の行事や利用者の誕生日会、食事やおやつレク、気候や天候の良い日には玄関先で体操をしたり、近隣公園まで散歩に出かけてお花を見にでかけるなど活動の幅も少しずつ広げて楽しみにつなげています。日々の活動についてはホームページ上のブログを通して発信し、面会を控えている家族の方にもホーム内での生活の様子が伝わるように配慮しています。今後は生活の幅を広げていくために、新型コロナウイルスの感染状況を見て、地域の方との関りや外出機会を増やしていくことも検討して生活の幅の拡充を目指しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入社時に理念の説明を行っている。また、ホーム内に掲示してスタッフ間で共有を図り日々の業務に活かしております。また、定期的にサービスの意義や想いについての研修も行ってあります。	会社の社是のほか、サービス方針、サービス宣言を事業所内に掲げています。社是や方針等については、職員の入職時に説明しているほか、既存職員に対してもミーティングの中で必要に応じて確認して理解を深めています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年度もコロナ禍の影響もあり、地域の方々との交流が思うように行えてないのが実状であります。	今年度はコロナ禍の影響もあり、地域行事も中止となり地域との積極的な交流はできませんでした。今後は社会の情勢なども確認してボランティアの受け入れや移動パン屋の導入なども検討していくことにしています。	コロナ禍収束を見据えて、地域との交流を今後どのように進めていくかについても検討し、地域との交流が少しずつ前進できるとよいと思います。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護相談といった部分でのお問い合わせ等頂戴しております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度も集まっていたの運営推進会議の開催は行えておりません。書面による活動報告を行い運営のアドバイスを頂戴するようにしております。	運営推進会議については今年度はコロナ禍の影響もあり、対面式ではなく書面開催という形式で実施しています。議事録については市役所の担当課、地域包括支援センターへ送付して、送付の際に意見や要望などを確認しています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	何か疑問点等あった場合には電話相談及びメールでのやり取り情報交換を行っております。	運営上相談事が生じた際には、市の担当課へ連絡を入れて適切な指示を仰ぐことができている。今年度も新型コロナ関連で必要な情報を頂くほか、運営に必要な情報も必要に応じて情報を受け運営に生かしています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止は当然なことであり近い事例もない。身体拘束についての研修会を年2回開催し理解を深めている。また、新入社の職員へも入社時に研修を行ない、全職員が拘束について正しい知識を持てるよう努めている。	2ヶ月に一度の運営推進会議に合わせて身体拘束適正化委員会を実施し不適切な対応が無いかについて管理者、主任、ケアマネジャーで確認しています。またオンデマンド研修を通して身体拘束廃止について職員の理解を高めています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内で虐待について研修会を行った。また、3ヶ月に一度全職員と面談を行ない、虐待または虐待と思われるような事象をみたことがあるか調査している。		

グループホームガーデンコート船橋三山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	上記の虐待防止の研修会と合わせて制度の概要等の勉強会を実施した。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学の対応時、初回の面談時、契約時にご説明や不安な点等尋ね、理解、納得を図っている。また、入居後も相談があった場合には丁寧に説明している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様からはメールやラインで、お客様からは日々の生活の中で意見や要望をお聞きし、内容を精査した上で出来るところから実施するように努めております。	家族からの意見や要望については面会時に直接確認するほか、外部評価時の家族アンケートを通して確認しています。利用者からの意見や要望は日常会話から収集しています。意見や要望等が表出された際には速やかに対応しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議を通じて出る意見やスタッフ個々での相談や意見、提案は随時相談にのっている。申し送りや連絡ノートを活用し、フィードバックすることを心掛けております。	職員からの意見や要望については日常的に管理者や主任が中心となり確認しているほか、管理者との個人面談の機会も定期的に設けています。また毎月の会議時にも意見などを確認して業務や支援の見直しにつなげています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スタッフ個々の生活環境、体力面等を考慮してシフトの整備を行っている。社としては資格取得のバックアップ制度もある。また、日々の取り組みを評価して積極的に昇格を実施している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内での研修に新卒から管理者までが参加。拠点内研修や各ユニット毎に月1回で会議を行い、ケアについての疑問点や問題点を相互に出し合い改善していく機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業他社の方との勉強会に管理者及び職員も参加させて頂いている。様々な事例や各事業所の取り組みに触れることで質の向上に努めている。		

グループホームガーデンコート船橋三山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	馴染みの関係を増やす為に、居室担当制を導入し、個別対応を行っている。また、ご本人様からのご要望は出来る限り実行するよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	計画作成担当者及び管理者が窓口となり、不安な点やご要望等お聞きして関係構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	出来る限り、ご本人様やご家族様からのヒアリングを行い、必要であれば他サービスの紹介も行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来ない事を無理強いするのではなく、出来る事をいかに発揮出来るかを重点においてケアしております。また、他者交流も行えるよう、職員が常にいる体制をとり、職員も交えながらより良い関係構築に努めております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ブログを週2回以上更新してホームや本人の様子がわかるよう載せております。また2ヶ月に1度のペースで通信も作成し配布。LINEやzoomを用いて面会をするなど直接お会い出来る機会を増やすようにしております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍において不要不急の外出・外泊は控えていただくようお願いしております。感染防止の観点から出来るだけ短時間とするようお願いしております。	馴染みの人や場所との関係継続に向けた支援では、コロナ禍のため馴染みの場所へお連れすることはできませんでしたが、利用者の友人が面会に訪れたり、今後は家族との外出も許容し、馴染みの場所への外出なども検討しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々のレクリエーションを通してお一人お一人が孤立しないよう、集団生活の中でお互いにコミュニケーションがとれるよう配慮して援助するように努めております。		

グループホームガーデンコート船橋三山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了時には、「今後、介護のことでお困りのことがあればお気軽に連絡してください」とお伝えすようにしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様、ご家族様のご意向やご要望を把握してケアプランに組み入れて、ご本人様のご趣向等に応じて生活の中での楽しみや役割を持って頂けるように努めております。	利用者の思いや意向については日常会話からの収集のほか、ケアプランの作成及び更新時に実施するアセスメントにおいて確認しています。抽出した意見や要望、課題等はケアプランに反映し日々の支援に反映できるように努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	計画作成担当者を中心に初期のアセスメントから状況把握するよう努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	出来ない事を無理強いするのではなく、出来る事をいかに発揮出来るかを重点においてケアしております。申し送りを通じ心身の状態を把握して記録し、情報の共有を図っております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当者が中心となり、ご本人様やご家族様にヒアリングしてプラン策定しております。	アセスメントで抽出した情報、利用者本人、家族、職員の意見を担当者会議で話し合い、総合的な意見を踏まえてケアプランを作成しています。ケアプランの進捗については毎月モニタリングで確認し、6ヶ月毎短期目標を更新しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は個人記録に反映しております。その記録をもとにして事務方を含め情報共有を図っております。 また、月に1回ユニット内会議を開催して情報共有に努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	併設の小規模多機能をご利用のお客様との交流を行ったり、ユニットだけではなく、全体でレクリエーションを行ったりしております。また、「〇〇に行きたい、やりたい、食べたい」等の要望があった際には、可能な限り実現出来るよう努めております。		

グループホームガーデンコート船橋三山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設周囲の公園への散歩や、神社へのお参り、少しでも楽しみが出来るよう支援しております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科、歯科は往診が可能である。他科受診も行っており、ご家族様が通院に行く際は、必要に応じて、施設の様子等情報提供を行うように努めており、受診同行も場合によっては行っております。	ホーム提携先医療機関とは定期往診を通して連携を図ることができています。利用者の緊急時には迅速な対応を可能としており24時間の対応を可能としています。また、訪問看護ステーションも週に一度来所され利用者の健康状態を確認しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設の小規模多機能の看護師がいる為、介護職員や事務方と情報の共有化を図り、往診や通院時医師に情報を伝達出来るように努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	往診医の紹介状等は迅速に対応して頂けるので、ご家族様報告や職員の付き添いにより受診して関係構築を図っております。入院中も定期的に連絡を取るよう努めております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期のケアの対応は可能です。協力医療機関と連携を取り、ご家族様やご本人様のニーズに可能な限り対応出来るように努めております。	重度化した場合や終末期の対応についてはホームでできること、できないことを利用契約の際に説明しています。現状看取り支援は行っていませんが、重度化によりホームでの生活が難しくなった際には、今後の方針を家族も交えて検討しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	発生した事案について全体で情報の共有、対策方法の検討を行っております。備えとしては、手薄になる夜間帯に何かあった場合でも事務方や当直者を立て、対応にあたることしております。また、事故や緊急対応についての研修も開催しております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練や座学を通じてスタッフ間で避難方法等のシュミレーションを行っております。地域で災害が起きた場合でも、可能な限り受入は可能であります。	災害に備えた避難訓練は年間2回計画しており令和4年度は8月と2月を予定していましたがコロナ感染等もあり定期的な実施とまでは至らず次年度早々に実施予定としています。水害状況についてはハザードマップで確認しています。備蓄品はホーム内に完備して在庫も定期的に確認しています。	

グループホームガーデンコート船橋三山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	定期的にプライバシーや尊厳、接遇に関する研修を開催しており、日々の声かけの方法や言い回し等に気を配り、尊厳を損ねないように対応するように努めております。	利用者のプライバシーや羞恥心に配慮し、適切な対応が図れるように、身体拘束廃止に向けた研修時に利用者のプライバシーや羞恥心の配慮に向けた内容も取り入れ、職員の意識を高め不適切な対応を防いでいます。	次年度に向けては計画的に避難訓練を実施していくことや成義務となった事業継続計画(BCP)についても段階的に準備を進め作成し、災害発生後における運営方針の明確化を期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様のペースや日々の状態の変化に合わせて希望を叶えられるよう創意工夫をしております。衣類の選択や、お客様の「〇〇をしたい」「〇〇食べたい」というご要望等があった場合は出来る限り実現していけるよう努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	スタッフの導線上、食事時間と入浴時間は定められているが、その他の時間に関しては自由に楽しんで頂いたり、お客様ご自身のペースや希望に合わせてゆとりを持たせた支援に努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問理美容を導入しております。女性のお客様でご希望のあった場合には、お化粧品やマニキュアを塗ったり爪の手入れをしたりして支援しております。また、起床時に必ず整髪を行ない、更衣時は出来る限りご本人様に衣類を選んでいただいております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お客様にも可能な範囲で準備や片付けを職員と一緒にしてもらっております。外食などに出られない状況が続いたため、テーブルのレイアウトを変えたりして気分転換を図れるよう努めております。	日々の食事の準備や後片付けでは、利用者の関りを大切にしていてテーブルを拭いていただいたり食器洗浄後にお皿を拭きなどに関わって頂いています。食事の楽しみに向けては、行事食の提供やおやつ工夫などを通して食べる楽しみにつなげています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	定期のお茶の時間以外にも、お客様のご要望に応じて提供しております。水分制限のある方、とろみを使用する方などみらしゃるため、お客様全員の状態に合わせて提供して一日の摂水量をチェックしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声かけや介助をして口腔ケアを実施している。訪問歯科の無料健診も取り入れたり、食前の嚥下体操も実施して支援しております。		

グループホームガーデンコート船橋三山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	グループホームに入居して排泄具を取り除いた例もありますが、逆に使用した方もいらっしゃいます。誘導等困難な方もいらっしゃいますが成功事例を共有し、出来る限りトイレにて排泄をして頂けるよう支援しております。	排泄については定時の声かけや誘導により、トイレで排泄できるように支援しています。定時に声をかけることで、排泄の失敗が無いように注意を払い対応しています。排泄状況はタブレット端末を使用してデータを入力しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表の記録からデータを抽出して、薬に頼らず食事改善や捕食等でコントロールするように努めております。排泄状況は毎日2回必須で申し送りをしております。医療機関と連携した排便コントロールも行っております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	導線上、入浴時間の設定はしておりますが、毎日入浴出来る環境は整えられるよう努めております。拒否のある方には無理強いせず、タイミングや日程を変更して納得して頂き入浴してもらえよう努めております。	入浴については週に2回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助について事故が起きないように努めています。入浴中はマンツーマンでの対応のため利用者とのコミュニケーションを深める時間にもなっています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の入眠パターンを把握し、快適に休息して頂けるよう努めております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お客様の処方薬は薬局からの説明書面を事務所内にファイリングをして閲覧出来る場所に設置しております。誤薬防止の対応は、記入帳票等を活用し誤薬等が起こらないよう日々注意喚起しております。状態の変化に応じて担当医と相談して薬の変更を実施。変更後は特に症状の変化を把握するよう努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	「集団」で行う、「少人数」で行う、「個別」に行うの3パターンがあり、その日、その時の状態・状況により余暇を楽しんで頂けるように努めております。また、趣味趣向や生活歴に応じて、役割は個別余暇を提供するよに努めております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍の状況であったため、例年ほどの外出支援は出来てはおりませんが、時間や場所、人数を制限して近隣への外出は行いました。	コロナ禍の影響もあり、全体での外出や地域行事への参加などは難しい状況ですが、ホーム前の畑作業に関わって頂いたり、3月になり気候の良い日には少人数で散歩に出かけ近くに咲く桜を見に出かけ戸外に出られるように努めています。今後は感染状況を見て外出の機会も徐々に増やしていくことを検討しています。	コロナ禍の状況を見て、外出も今後増やしていくことも検討しているため、利用者が戸外に出かけられる機会が少しずつ増えていけるよう取り組まれることを期待します。

グループホームガーデンコート船橋三山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	当社の規定により原則事務所で一括管理をしております。買物時は同行する職員に預け買物をしております。会計時は出来る限りご本人様に行なってもらう様に努めております。また、買物のご要望があった際には、ご本人様と一緒に買物にでかけるようにしております。但し、コロナ禍の観点から100%の支援とは言い切れないのが実状でございます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご要望があった際には、お電話をしたお電話を取り次ぐようにしております。耳が不自由な方には、職員が介入することでお電話でもやり取りが出来るよう支援しております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂にその季節にちなんだ飾り付けをしたり、お客様の描いためりえを掲示したり、行事の写真を貼ったりして居ながらにして季節を感じていただける空間演出をするようにしております。	季節に合わせた装飾品を作り掲示するなど季節感が感じられるように各ユニットで工夫しています。掃除も日々徹底するほか毎週大掃除の時間を設けて整理整頓も徹底しています。消毒、換気もこまめに行い、感染予防対策も徹底しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間でお独りになるスペースは残念ながらありませんが、気の合う同士関わりを持ったり、併設の小規模多機能のお客様との交流をしたりする支援を実施しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	原則、火災につながる物品の持込は禁止しておりますが、その他の持込品については危険が無ければ原則自由であり、馴染みの物をご持参頂いております。ご本人様のご要望に応じて、入居後も必要な物品を購入することも可能にする支援を心掛けております。	居室の掃除も定期的に行い清潔保持に努めるほか、居室内のレイアウトについても利用者、家族の意向を大切にしています。馴染み品の持ち込みを可能として居心地よく過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内は基本的にバリアフリー設計となっております。お客様の安全を確保しながら自立した生活が送れるようにしております。		